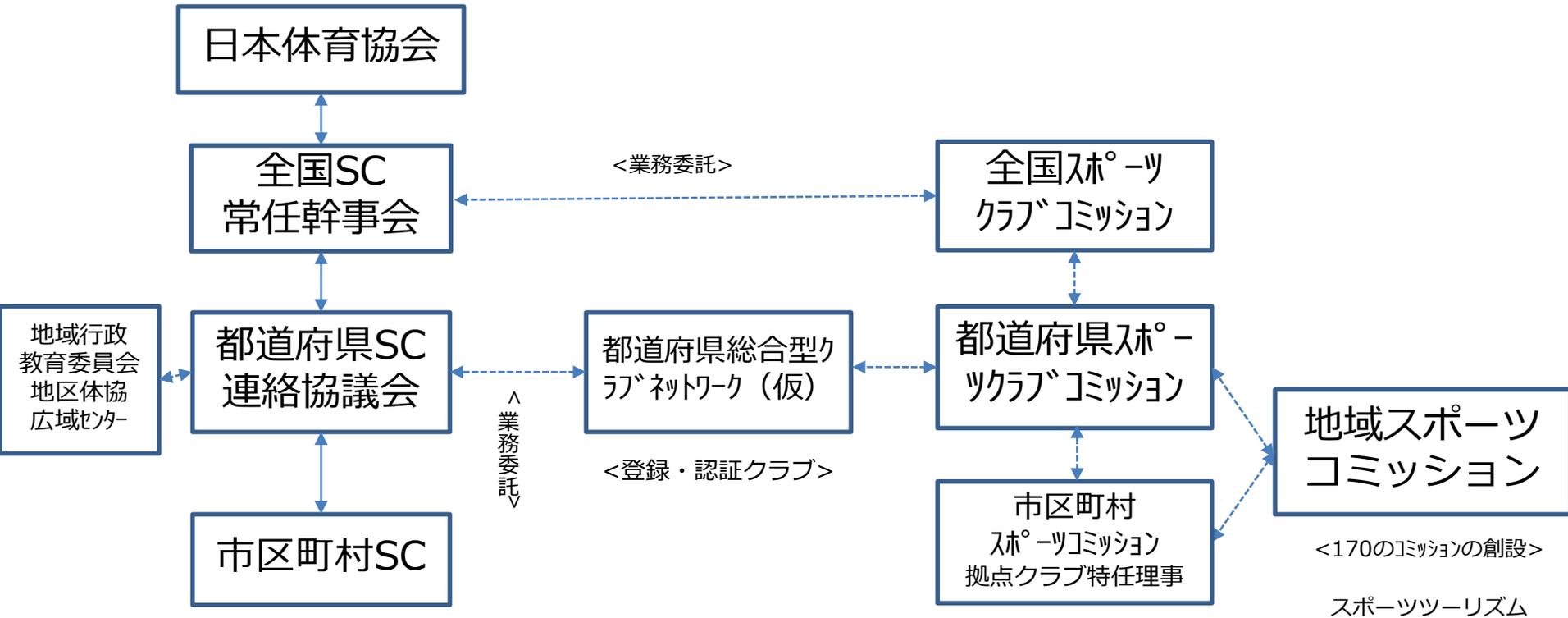


— 第二期スポーツ基本計画における地域スポーツ組織化のポイント —

<質的充実>
総合型スポーツクラブ

<特定テーマ・
エリアネットワーク>

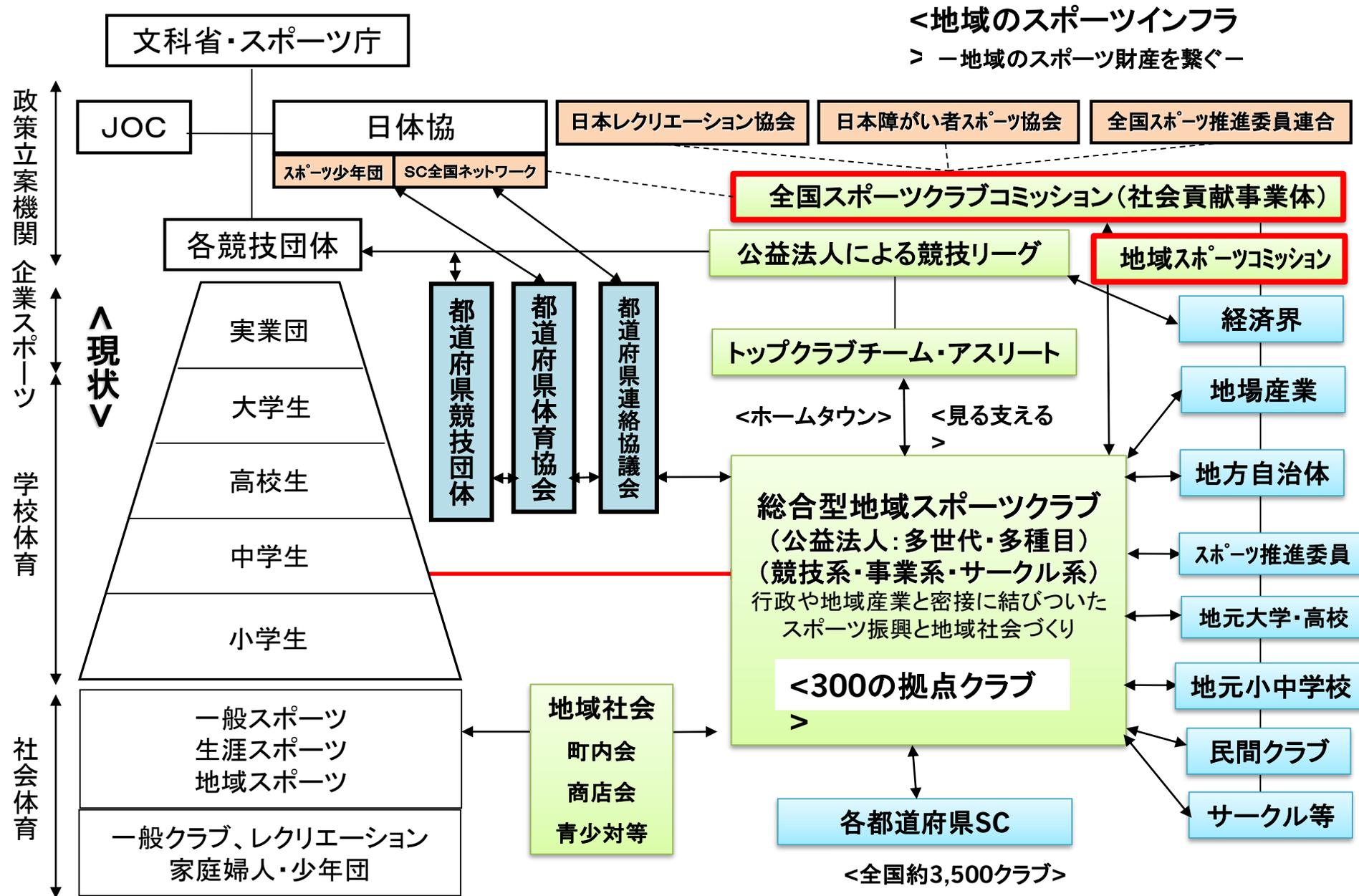
<地域活性化>

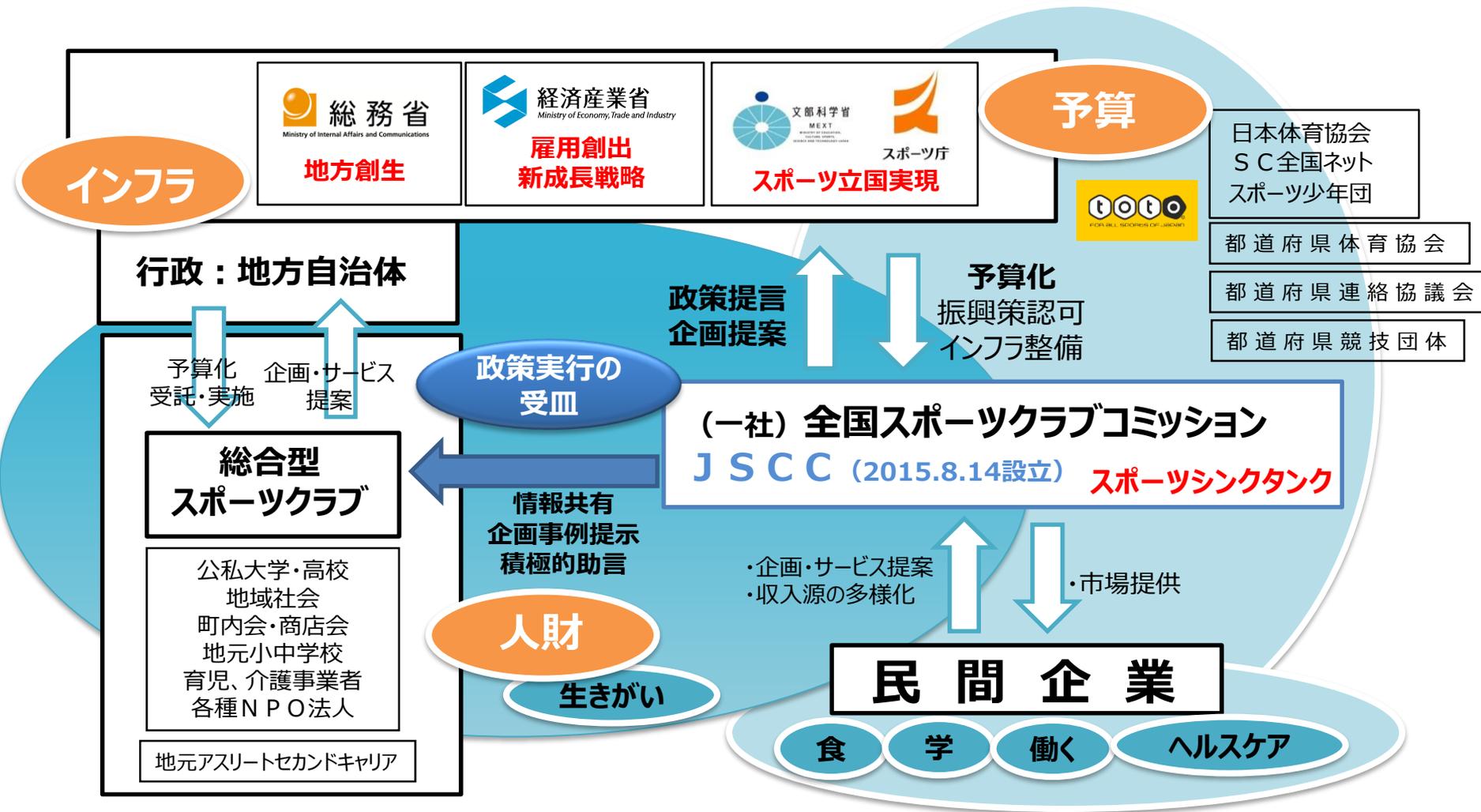


— 地域の特色を生かした地域のスポーツ財産を繋ぐ事業体組織作り —

<地区体協・スポーツ推進委員・日レク・日クラブ・障がい者・地域包括・文化・産業>
情報共有プラットフォームで地域スポーツの総合的マネジメント

日本スポーツ界での位置づけ (地域スポーツの構造改革の実践)





JSCCは「**総合型スポーツクラブ振興ソリューション**」を展開。（課題解決型組織）
 スポーツに軸足を置き、地域行政の社会的課題の解決を担う、企画、情報、人、運用実行能力の提供可能な組織としての、「総合型SC」の自立と発展の為に、具体的な事業実施をサポートする。

- 中央行政機関の情報と事例を共有化し、各SCへ情報発信。行政の政策推進計画を実行し、政策提言を行ない、予算化を促します。
- 各クラブの運営で、蓄積されたナレッジを活用して、民間企業と連携する企画を創出（経営基盤強化、収入源の多様化を目指す）
- コーディネーション機能を強化し、地域特性にあわせた企画の展開（人的リソース活用方法、クラブ運営者育成の具体例を提示）
- SCのコンサルティングサポート。（マネージメントの助言、業務設計、IT技術の導入など）
- SC間のネットワーク化を推進する、中間支援組織の形成。情報収集（クラブ間交流、会員データ管理、分析）

大田区スポーツ推進・健康街づくり 全体構想案(骨子)

～ 2020東京オリンピック・パラリンピック、そしてその後に向けて～

■目的

- ・「する、みる、支えるスポーツ」による「スポーツ健康都市宣言」の具現化
- ・スポーツを中心にした街づくり、コミュニティづくり
- ・スポーツ・文化・産業の振興と国際都市おたの実現

★課題

- ①スポーツによる健康で豊かな暮らしの実現
- ②スポーツによる経済活性化
- ③2020オリンピック・パラリンピック以後も持続可能な「スポーツ健康都市」づくり

■役割

- 1)関係部局、関係団体との連携・調整。
- 2)必要予算づくり。

■オリンピック・パラリンピック対策室設置

- 1)区全体でのキャンペーン
- 2)ハード・ソフトの充実(新空港線・空港跡地活用・事前合宿やスポーツイベント誘致)

■役割

- 1)スポーツによる観光事業(国内・国外)の促進。
- 2)スポーツによる地域経済の活性化。
- 3)スポーツによる国際交流の促進。
- 4)スポーツ健康都市「おた」の広報活動。
- 5)既存スポーツ施設の有効活用。

■スポーツコミッションの実現

- 1)オリパラ事前合宿の誘致。
- 2)国内外のスポーツ大会(主にインドア)の誘致。
- 3)外国マイナースポーツチームの応援。
- 4)羽田国内線跡地の有効活用(ビーチスポーツ場づくり)
- 5)多摩川河川敷など活用したマラソンコース、ウォーキングコースの整備・大会実施。

■役割

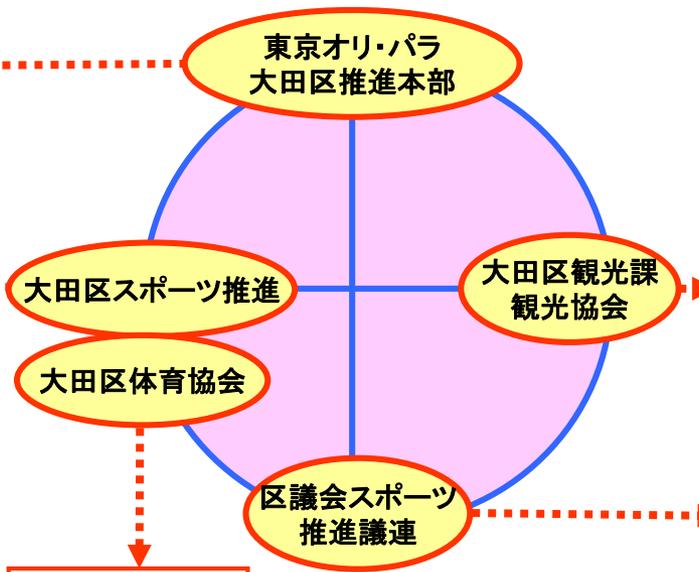
- 1)スポーツを通じて区民の健康づくり。
- 2)スポーツを通じて地域の賑わいと活力を増進。
- 3)スポーツを通じてココロとカラダの教育。
- 4)地域総合型スポーツクラブの活動&設立支援。
- 5)スポーツを通じた障害者のノーマライゼーション化。

■大田区内の地域総合型スポーツクラブとの連携

- 1)各種スポーツ教室、健康づくり教室実施。
- 2)おた地域スポーツネットワーク会議の開催。
- 3)おたスポーツ健康フェスタの実施。
- 4)Facebook「おた地域スポーツクラブネットワーク」によるスポーツ活動・イベント情報の発信。
- 5)スポーツ関連ポータルサイトでの情報公開。
- 6)大田区商店街連合会との提携。
- 7)障害者スポーツのPR。

■役割

- 1)大田区民へのPR。
- 2)都・国へのPR。
- 3)スポーツ関連企画への前面・側面・後方支援。



各種競技団体

大田区カヌー連盟

社会登録団体

地元プロ・企業チーム
トップアスリート

日本レクリエーション

スポーツ推進委員

障がい者スポーツ

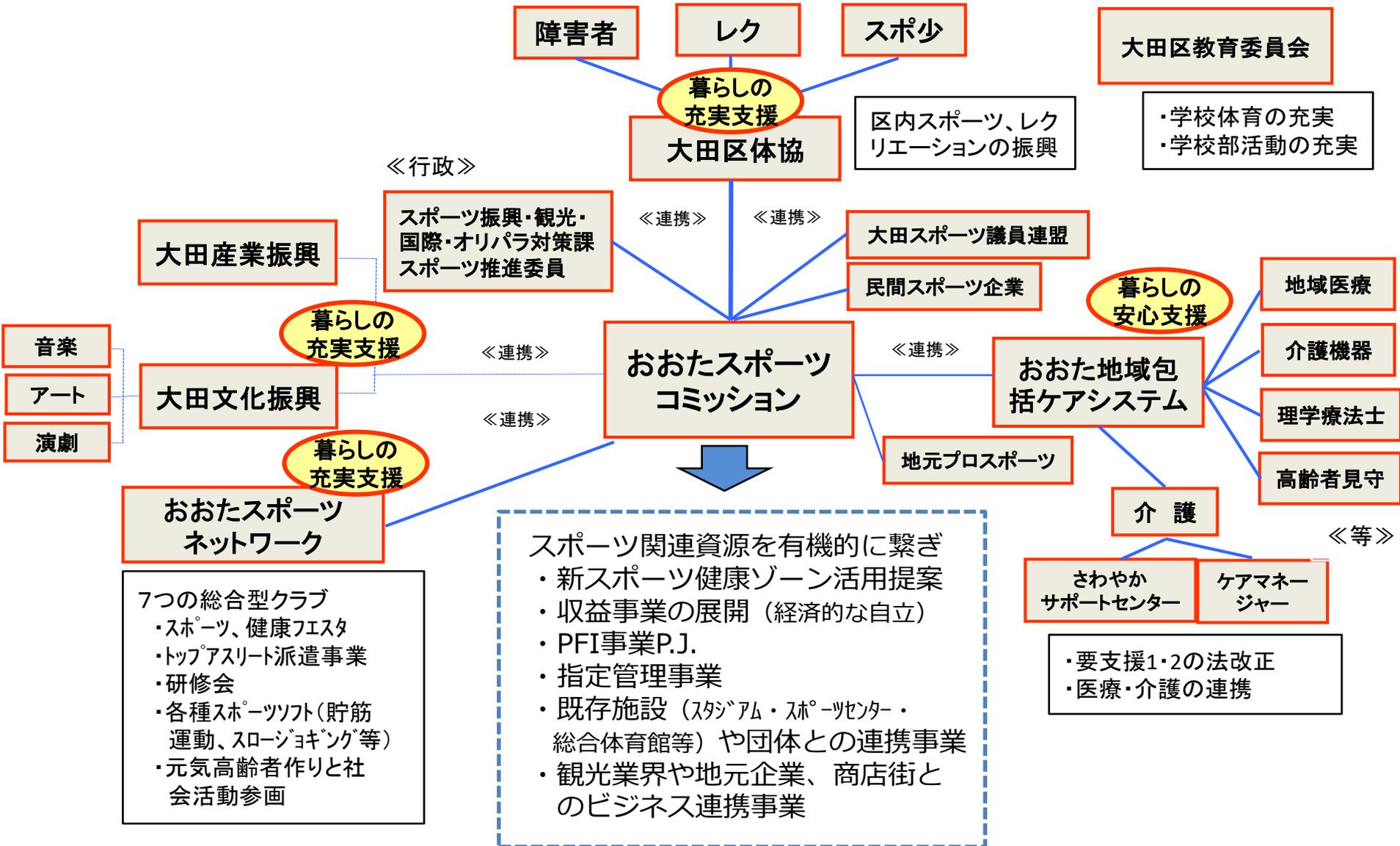
下町ポプスレー

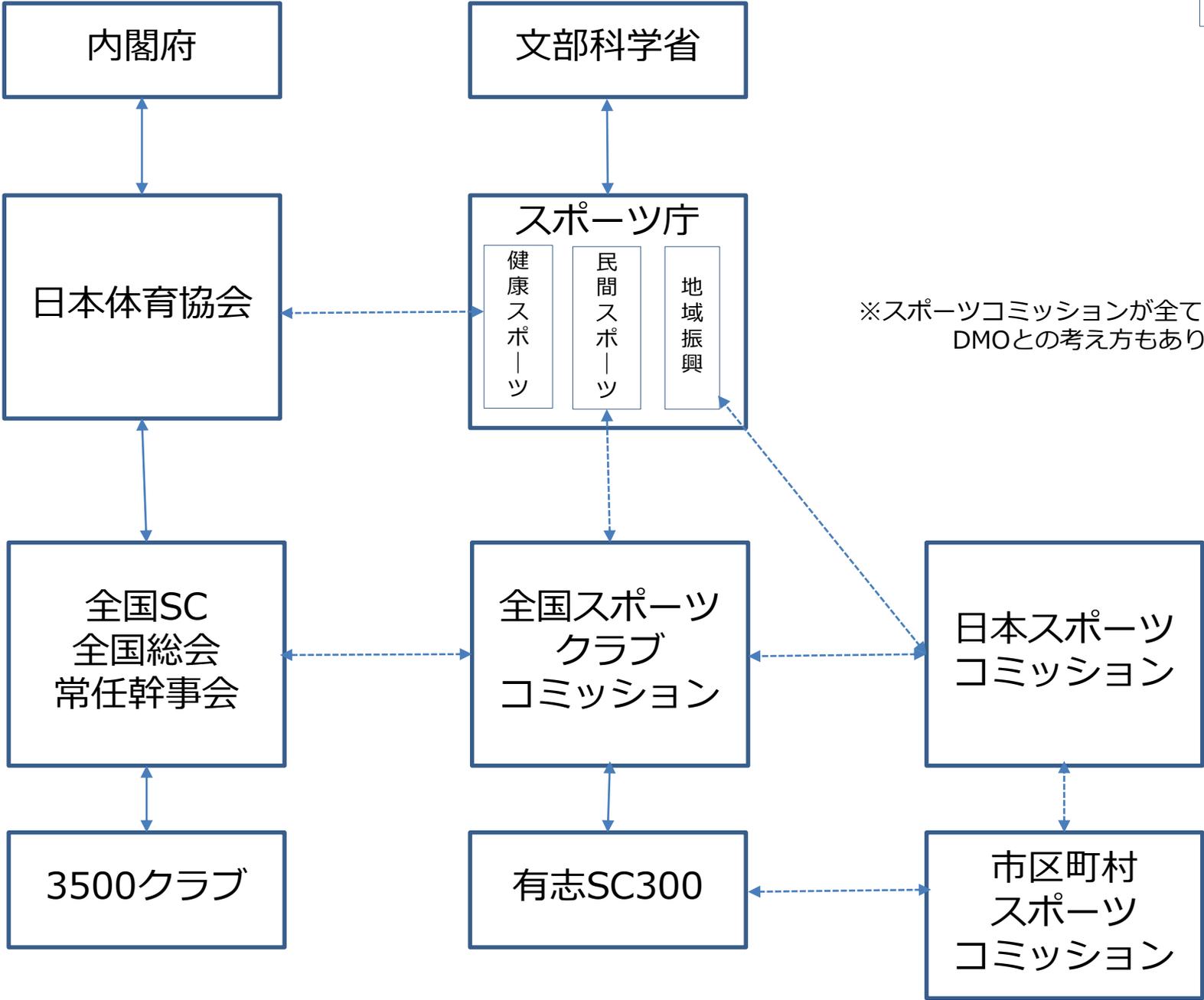
大田区産業界

2020東京オリ・パラ以後、国際空港のある街「国際スポーツ健康都市おた」の実現

大田スポーツ振興総合プロジェクト 地域資産マップ

～地域スポーツを軸とした街づくり～





※スポーツコミッションが全てではなく DMOとの考え方もあり